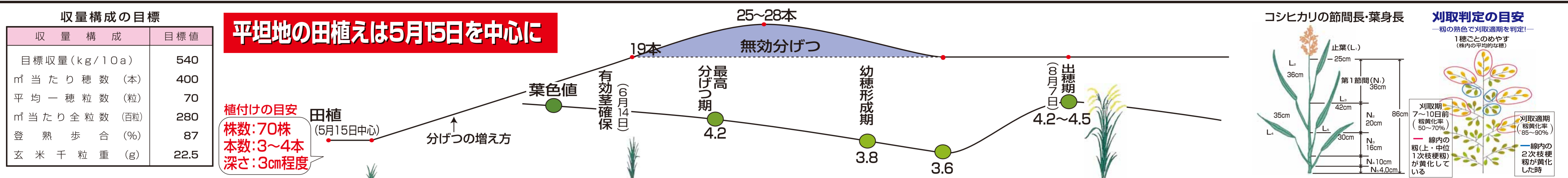


今年度の重点対策 ①珪酸質資材、堆肥の継続施用 ②5月15日を中心とした田植え ③出穂後20日間の湛水管理 ④カメムシ防除の徹底 ⑤栽培記録・GAPの確実な実践

栽培基準を定めた生産者を支援する



生育期	育苗期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	登熟期	刈	穫
水管理	やや深水	浅水管理	溝掘り	中干し期間	間断かん水	飽水	湛水	間断かん水	落水は急がない
月日	4月 25日	5月 5日, 10日, 15日, 20日, 25日	6月 5日, 10日, 15日, 20日, 25日	7月 5日, 10日, 15日, 20日, 25日	7月 25日, 8月 5日, 10日, 15日, 20日, 25日	8月 5日, 10日, 15日, 20日, 25日	8月 25日, 9月 5日, 10日, 15日, 20日, 25日	9月 5日, 10日, 15日, 20日	10月
管理のポイント	珪酸質資材の施用と深耕 田面は均平にする 代かきは練りすぎない 土壌に応じた適正な施肥 播種は25日を中心に (芽出し籾150g、 一箱当たり、乾籾120g)	育苗カビの予防 ダコレート水和剤 播種同時処理のみ 500倍液で1箱500mlかん注 (水500lに1袋100gで苗箱100枚分)	苗箱施肥 イネミズソウムシ・イネドロオウムシ・ウンカ類 ニカメイチュウ・白葉枯病・いもち病・紋枯病 ルーチンエキスパート箱粒剤 1箱当たり50gを確実に施用 ・播種時(覆土前)~移植当日	中干し後は間断かん水を徹底 畦畔、農道等の草刈りの徹底 中干しの開始 (田植えの1ヶ月後を目安に)	幼穂長の確認 一回目の穂肥は幼穂長、葉色に応じて慎重に (出穂15日前から) 二回目は一回目の一週間後にしっかりと 一発肥料田でも葉色が淡ければ追加穂肥	出穂後20日間は十分な湛水状態を保つ	刈取5~7日前までの間断かん水 フェーン時には十分にかん水 基本防除二回目(傾穂期) 基本防除一回目(穂揃期) 基本防除一回目(穂揃期) 基本防除一回目(穂揃期) 基本防除一回目(穂揃期)	秋起こし 堆肥の施用 珪酸質資材の施用 土づくり	

病害虫防除	種子消毒	育苗カビの予防	苗箱施肥	1回目	2回目	傾穂期	雑草が多く残った場合
モミガードC水和剤 水200lに100g使用する 24時間消毒で1回のみ使用可 最初に種籾をよくゆする 消毒後は水洗いしない	種籾10kg当たり	ダコレート水和剤 播種同時処理のみ 500倍液で1箱500mlかん注 (水500lに1袋100gで苗箱100枚分)	イネミズソウムシ・イネドロオウムシ・ウンカ類 ニカメイチュウ・白葉枯病・いもち病・紋枯病 ルーチンエキスパート箱粒剤 1箱当たり50gを確実に施用 ・播種時(覆土前)~移植当日	いもち病・稲こうじ・変色米 ラブサイドペフラン粉剤DL ブラシン粉剤・ブラシンフロアブル 紋枯病 モンカットファイン粉剤20DL バシタックゾル	いもち病・カメムシ類・ウンカ類 ビームスタークル 粉剤5DL ・10aに4kg ビームエイトスタークル ゾル(1,000倍液) ・10aに100~150ℓ散布	カメムシ類・ウンカ類・ツマグロコバイ キラップ 粉剤DL ・10aに4kg キラップフロアブル (1,000倍液) ・10aに100~150ℓ散布 スタークル粉剤DL・スタークル液剤10	雑草が多く残った場合 ヒエ クリンチャー1キロ粒剤(湛水散布) 1.0kg(ノビエ4葉期まで、但し収穫30日前まで) 1.5kg(ノビエ5葉期まで、但し収穫30日前まで) ヒエクリーン豆つぶ250(湛水散布) 1年生広葉雑草、ホタルイ、ウリカワ バサグラン粒剤 3~4kg(落水散布) ヒエ、1年生広葉雑草、ホタルイ、ウリカワ等 フォローアップ1キロ粒剤(湛水散布) クリンチャーバスME液剤(落水散布)

### 土壌に応じた適正な施肥

◆コシヒカリ肥料設計の目安(kg/10a)◆

土壌区分	一発肥料	分施肥体系		
		基肥	穂肥①	穂肥②
沖積	SL(砂壤土)	32~36	10	13
	L(壤土)	27~33	10	12
	CL(埴壤土)	23~27	10	10
洪積	赤土	27~30	10	10
	(SL)黒ボク	32~36	10	12

\* 基肥量は地力や堆肥施用量に応じて加減しましょう。  
\* 田植時に基肥施用量の確認をしましょう。  
\* 一発肥料は安易に増やさず葉色をみて追加穂肥で対応する。  
詳細な施肥設計については  
各地区営農経済センターへお問い合わせ下さい。

### 除草剤は適期に散布 (使用量、使用時期、使用方法を誤らない事)

田植	田植後	(10a当たり使用量)
初期中期	かねつぐ1キロ粒剤	1kg
田植同時兼用剤	ウィナー1キロ粒剤51	1kg
田植後処理剤	パッチリフロアブル	500ml
田植後処理剤	パワーウルフ1キロ粒剤	1kg
田植後処理剤	コメット1キロ粒剤	1kg
田植後処理剤	ゲットスター顆粒	80g
田植後処理剤	ガンガン豆つぶ250	250g
田植後処理剤	ポデーガードジャンボ	400g

※留意点: やや深めに水を張って、散布後7日間は落水やかけ流しをしない

### 食味に差がでる土づくり

#### 「土づくり」の3ポイント

- 珪酸質資材100kgを目標に継続的な施用
- 稲わら、堆肥・籾ガラ等の有機物の施用
- 15cm以上の深耕の実施

◆土づくり資材の10a当たり標準施用量◆

資材名	珪酸質資材				発酵鶏糞 (15kg袋)
	スーパーケイサン+ (15kg袋)	フミンエース (20kg袋)	米取りけいさん鉄 (20kg袋)	シリカロマン (20kg袋)	
施用量	90kg	100kg	100kg	100kg	75~105kg
特徴	pHの矯正 ケイ酸の補給	pHの矯正 腐植、リン等の補給	pHの矯正 鉄等の補給	pHの矯正 リン等の補給	春施用の場合は 基肥窒素成分で 1kg減肥する

※上記の中から必要な資材を選んで使用してください

### 栽培記録

区分	珪酸質資材、肥料名	施用月日	施用量	本田管理 (作業開始日)	区分	農薬名	散布月日	散布量	区分	時期	農薬名	作業日	
												月日	散布量
土づくり	基肥	月日	kg/10a	区分	農薬名	散布月日	散布量	区分	時期	農薬名	種子消毒	月日	散布量
	追肥	月日	kg/10a								苗箱施肥	月日	50 g/箱
	穂肥①	月日	kg/10a								本田	月日	/10a
	穂肥②	月日	kg/10a								随時	月日	/10a

肥料農薬名は農協の推奨品目です。農薬等は、記載されている使用基準を守って使用しましょう。